

第114回サイエンスカフェ
2016.7.15(金)18:30-20:30

細胞は動く

ゲスト 放送大学客員教授 室伏 擴 さん

コーディネーター お茶の水女子大学長

ネーター 日本学術会議連携会員 室伏きみ子 さん

細胞運動の研究は、最大の運動組織である筋肉の収縮機構の解明から始まりました。その後、細胞運動は多くの細胞に見られる現象であり、かつては筋肉固有のタンパク質と考えられたアクチンやミオシンがほとんどの細胞に存在し、種々の細胞運動に関与することが分かってきました。また、もう一つの運動系である微小管、ダイニン、キネシン系の研究が進みました。現在では、多くの細胞に共通な機能である細胞分裂や細胞移動のみならず、細胞内の物質輸送や、発生における体の左右の決定、がんの転移や、ある種の細菌の感染などにも細胞運動が重要な役割を持つことが分かり、それらの機構が明らかにされています。

今回のサイエンスカフェでは、いろいろな細胞運動の機構について、運動を担うタンパク質の構造変化と関連づけてお話しいたします。

会場: サロン・ド・FUZAMBO Folio

千代田区神田神保町1-3 富山房ビルB1

Tel:03-3291-5153 E-mail: folio@fuzambo-intl.com

申込: 予約制 (電話またはE-mailで)

参加料: 1名1,000円(中高生500円)

1ドリンク、デザート付

主催: 日本学術会議・富山房インターナショナル